

四万十市議会だより

No.72
2023.2.1 発行



～もくじ～

- 議案 … 1ページ
- 一般質問 … 4ページ
- トピックス … 19ページ

令和4年第4回臨時会

四万十市議会第4回臨時会は、10月31日に1日間の会期で開催されました。「専決処分の承認」1件、「令和4年度補正予算」1件、「工事請負契約の一部変更」2件の議案が提出され、慎重に審議をおこないました。

| 議案番号 | 件 名 | 結果 |
|------|---|--------|
| 1 | 専決処分の承認を求めることについて (令和4年度四万十市一般会計補正予算について(第6号)) | 全会一致承認 |
| 2 | 令和4年度四万十市一般会計補正予算について(第7号) | 全会一致可決 |
| 3 | 工事請負契約の一部変更について ～(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(電気設備工事)～ | 全会一致可決 |
| 4 | 工事請負契約の一部変更について ～(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(舞台設備工事)～ | 全会一致可決 |

令和4年12月定例会

四万十市議会12月定例会は、12月5日に開会し、12月20日までの16日間の会期で開催されました。本期の定例会には、「令和4年度補正予算」12件、「条例の制定・改正」7件、「動産の買入れ」4件、「道路線の認定」1件、「公の施設の指定管理者の指定等」4件、「工事請負契約の一部変更」4件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、15名が「市長の政治姿勢」、「大学誘致」、「観光行政」などについて質問を行いました。

| 議案番号 | 件 名 | 結果 |
|------|---|--------|
| 1 | 令和4年度四万十市一般会計補正予算について(第8号) | 賛成多数可決 |
| 2 | 令和4年度四万十市国民健康保険会計事業勘定補正予算について(第2号) | 全会一致可決 |
| 3 | 令和4年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算について(第3号) | 全会一致可決 |
| 4 | 令和4年度四万十市奥屋内へき地出張診療所会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 5 | 令和4年度四万十市後期高齢者医療会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 6 | 令和4年度四万十市と畜場会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 7 | 令和4年度幡多公設地方卸売市場事業会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 8 | 令和4年度四万十市介護保険会計保険事業勘定補正予算について(第2号) | 全会一致可決 |
| 9 | 令和4年度四万十市水道事業会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 10 | 令和4年度四万十市下水道事業会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 11 | 令和4年度四万十市病院事業会計補正予算について(第1号) | 全会一致可決 |
| 12 | 四万十市職員の高齢者部分休業に関する条例 | 全会一致可決 |
| 13 | 四万十市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例 | 全会一致可決 |
| 14 | 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 | 全会一致可決 |
| 15 | 四万十市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 | 全会一致可決 |
| 16 | 四万十市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び四万十市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 | 賛成多数可決 |

| | | |
|----|---|--------|
| 17 | 四万十市立学校設置条例の一部を改正する条例 | 全会一致可決 |
| 18 | 四万十市都市公園条例の一部を改正する条例 | 全会一致可決 |
| 19 | 動産の買入れについて | 全会一致可決 |
| 20 | 動産の買入れについて | 全会一致可決 |
| 21 | 動産の買入れについて | 全会一致可決 |
| 22 | 動産の買入れについて | 全会一致可決 |
| 23 | 四万十市道路線の認定について | 全会一致認定 |
| 24 | 公の施設の指定管理者の指定期間の変更について | 全会一致可決 |
| 25 | 公の施設の指定管理者の指定について 新安並温泉スタンド | 全会一致可決 |
| 26 | 公の施設の指定管理者の指定について 四万十市立古津賀ふれあい会館 | 全会一致可決 |
| 27 | 公の施設の指定管理者の指定について 四万十市総合文化センター | 全会一致可決 |
| 28 | 令和4年度四万十市一般会計補正予算について(第9号) | 全会一致可決 |
| 29 | 工事請負契約の一部変更について～(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(建築主体工事)～ | 全会一致可決 |
| 30 | 工事請負契約の一部変更について～(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(機械設備工事)～ | 全会一致可決 |
| 31 | 工事請負契約の一部変更について～(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(電気設備工事)～ | 全会一致可決 |
| 32 | 工事請負契約の一部変更について～(仮称)四万十市文化複合施設建設工事(舞台設備工事)～ | 全会一致可決 |

議案の賛否の状況

| | 平野 正 | 宮崎 努 | 川村 一朗 | 上岡 正 | 山崎 司 | 谷田 道子 | 西尾 祐佐 | 大西 友亮 | 松浦 伸 | 川渕 誠司 | 上岡 真一 | 山下 幸子 | 廣瀬 正明 | 寺尾 真吾 | 前田 和哉 | 澤良宜 由美 | 川村 真生 | 鳥谷 恵生 |
|--------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|
| 第1号議案 | 議長 | ○ | × | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 第16号議案 | 議長 | ○ | × | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

12月定例会では2件の動議が提出され、いずれも採決の結果、賛成少数で否決となりました。

中平市長の発言に対する一部取り消しを求める動議(上岡正議員 提出)

中平市長に対する問責動議(川渕誠司議員 提出)

議案の賛否の状況

| | 平野 正 | 宮崎 努 | 川村 一朗 | 上岡 正 | 山崎 司 | 谷田 道子 | 西尾 祐佐 | 大西 友亮 | 松浦 伸 | 川渕 誠司 | 上岡 真一 | 山下 幸子 | 廣瀬 正明 | 寺尾 真吾 | 前田 和哉 | 澤良宜 由美 | 川村 真生 | 鳥谷 恵生 |
|-----------------------|---------|---------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|
| 市長の発言に対する一部取り消しを求める動議 | 議長 | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | |
| 市長に対する問責動議 | 議長 | × | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | |

ここを質す!

一般質問

| 質問順位 | 質問者 | 質問要旨 | 質問掲載ページ |
|------|-----------------|---|---------|
| 1 | 山下 幸子 (一問一答) | 1 看護大学誘致 2 健康を守る 3 少子化対策 | 4 |
| 2 | 前田 和哉 (一問一答) | 1 都市公園 2 学校教育 3 消防庁舎の移転 | 5 |
| 3 | 澤良宜由美 (一問一答) | 1 A E D 2 高齢者の詐欺防止対策 3 女性のグリーフケア | 6 |
| 4 | 川村 一朗 (一問一答) | 1 人口増、地域の活性化をめざして 2 公共交通機関 | 7 |
| 5 | 川渕 誠司 (一問一答) | 1 大学誘致断念 2 中学校の再編 | 8 |
| 6 | 松浦 伸 (一問一答) | 1 本市の歴史文化を後世に 2 空き家対策 3 四万十鮎の振興を 4 無歯科医地域の解消を 5 地域に活力を | 9 |
| 7 | 寺尾 真吾 (一問一答) | 1 保育の運営 2 自治体 DX の推進 3 人事交流と派遣 4 2025 年日本国際博覧会 | 10 |
| 8 | 川村 真生 (一問一答) | 1 コロナ禍における日常生活 2 観光政策 3 子育て支援 | 11 |
| 9 | 大西 友亮 (一問一答) | 1 公私連携幼保連携型認定こども園 2 学校教育 3 大学誘致 | 12 |
| 10 | 鳥谷 恵生 (一問一答) | 1 学校給食 2 観光政策 3 市所有の駐車場利用状況 4 外国資本による土地取得の規制 | 13 |
| 11 | 上岡 正 (一問一答) | 1 看護大学誘致断念 | 14 |
| 12 | 谷田 道子 (一問一答) | 1 市長の政治姿勢 2 こどもたちの豊かな成長を育むために 3 マイナンバーカードと健康保険証の統合 4 コロナ禍の中でも、誰もが安心して医療にかかるために | 15 |
| 13 | 西尾 祐佐 (一問一答) | 1 市立具同保育所移転改築工事実施設計プロポーザル 2 新食肉センター整備事業 3 指定管理 4 教育行政 | 16 |
| 14 | 上岡 真一 (一括) | 1 市長の政治姿勢 2 教職員の支援 3 学力・学習状況調査結果 4 児童虐待 5 デート DV 6 住み続けられる町づくり 7 総合文化センター | 17 |
| 15 | 廣瀬 正明 (一括) | 1 観光博覧会「牧野博士の新休日」 2 四万十市の植物 3 下田地区の防災対策 4 地域安全活動への取り組み 5 保育所 6 猫の避妊手術 | 18 |

一般質問は 12 月 12 日(月)から 14 日(水)の 3 日間行われました。



大学誘致断念による今後の方針性 がん検診について 子育て支援について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

答弁 多くの方々より下田地区の活性化の提案を頂いています。

質問 今後の本市の方針性についての考えは

答弁 まず、下田地区の皆さんを初め、大学誘致で地域活性化を期待していただけた、多くの皆様の期待に沿えなかつた結果となってしまったことに、深くお詫び申し上げたいと思います。大学誘致は、人口減少や、少子高齢化が進む中で、若者の増加による地域活性化や経済効果、また進学先の選択肢の増加により、また重く受け止めています。

答弁 まず、下田地区の皆さんを初め、大学誘致で地域活性化を期待していただけた、多くの皆様の期待に沿えなかつた結果となってしまったことに、深くお詫び申し上げたいと思います。大学誘致は、人口減少や、少子高齢化が進む中で、若者の増加による地域活性化や経済効果、また進学先の選択肢の増加により、また重く受け止めています。

質問 今回、看護大学の誘致を断念すると言う結果になつたことを、市長はどのように受け止めているか

看護大学誘致の断念について

ておりますので、下田地区や市の、将来を見据えた新たな地域活性化策に向け、考えてまいりたいと考えております。



質問 現在の中医学研究所と、中学校旧校舎の利活用についての考えは

答弁 地域活性化を目的とした有効活用に向けて、いろいろな面から取り組んでいきたい。特にこの下田地区を一つのモデルとして、今後どのような形にしていくのか、多くの方々の意見を聞いた中で活用策を見つけていきたいと考えています。

質問 ウィッグの購入助成金について

答弁 本市においても受診率が低下している。コロナによる検診控えというのも、影響していると考えられる。

質問 がん検診について、新型コロナ感染拡大の影響による受診率の現状は

早期発見、早期治療について

来年度については、全ての学校で実施の予定となつてます。

質問 総合経済対策に盛り込まれた経済負担の軽減と、妊娠期から出産、子育てまで一貫した伴走型支援について本市の取り組みは

子育て支援について



答弁 外部講師として、幡多健診センターの医師、けんみん病院の看護師、がん患者の方に、各学校でがん教育を行つてます。

質問 学校での、外部講師によるがん教育についての現状は

答弁 伴走型支援については、既に妊娠届出時には、妊娠後期には助産師による電話、オンライン面談等を行い、出産後も家庭訪問を行つています。経済的支援については、妊娠届を提出後に5万円、出産後に5万円の現金での支給を想定してます。

前田 和哉議員



◆都市公園について ◆学校教育について ◆消防庁舎の移転について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

仲瀬公園の老朽化と整備について

な限り市民の意向に沿った整備に取り組む。

質問 中村一条通5丁目、元交通公園内の段差や使用されない車庫等を撤去し、防災公園として整備でききないか



答弁 防災公園は原則2ha以上必要で、この公園は0.45haであること。また、既にマンホールトイレス一オーラー照明等、一時避難所としての役割に応じた整備も済ませており防災公園としての整備は難しい。

質問 補装部分を芝に張り替え、安らぎを提供できる場所とならないか

答弁 令和元年から10年間の公園施設長寿命化計画を策定し修繕、更新を図っている。

遊具は近年中に更新、また、管理棟等は計画期間中に修繕を行う予定である。緑地化は難しいが、広くアンケートを実施し、可能

小中学生の不登校について

質問 県内で令和3年度に30日以上欠席した中学生は千人当たり61.2人と、2年連続全国で最も多くなった。

当市の千人当たりは何人か

答弁 小学生は12.6人、中学生では56.0人。

質問 ここ2～3年の増加原因は

答弁 様々な要因が絡み特定できないが、新型コロナ感染拡大により学校行事の変更や中止等、登校意欲が湧きにくい状況にもあつた。

ICTを使った体育の授業について



質問 タブレットを使いVRを見て種目に挑戦するような授業は行つてないか

答弁 カメラ機能で撮影し、動画を見ながら、練習方法の修正等を行つてている。

質問 不登校生にICT等を活用した学習を行い出席扱いか。また、当市では実現可能か。

質問 保護者と学校の連携、協力が保たれ、対面指導を前提に計画的なプログラムが実施されている等、一定の要件を満たしている場合。

当市のリモート配信は、そのレベルに達していない。今後課題等を整理し検討する。

消防庁舎の移転について

質問 結果のみを追求する授業になつていなか

質問 運動の楽しさ喜びを味わい、最後まで努力する態度や課題を見つけ解決方法を工夫するなど、結果のみを求めてはいない。

質問 四十万消防署は高規格道路のルート上にあり、早急に移転先を検討する必要がある。

質問 整備スケジュールや、求められる機能など、市としての期待は

答弁 整備スケジュールは高規格道路整備の進捗状況により調整されると聞いている。

市庁舎が被災した場合における災害対策本部の代替機能や、広域応援体制を整えると共に、放水や救助訓練のできる施設、防災意識の向上にも寄与できる機能性豊かな施設となるよう期待している。



AEDについて 高齢者の詐欺防止対策について 女性のグリーフケアについて



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

本市のAEDの実態について

質問 AED使用時に女性のプライバシーに配慮する為の三角巾を本市施設のAED収納ボックスに常備できているか

答弁 厚労省指示の元日本救急医療財団のHP上に地図データとあわせて公表されている為、本市では把握していない。

質問 本市施設のAED屋内設置、屋外設置の数は

答弁 本市で管理しているAEDは全体で89基、その内屋内設置は59基、屋外設置は30基。

高齢者の詐欺防止対策について

載。又高齢者安全教室などで被害防止等を呼び掛けている。

質問 自動通話録音機などの貸し出しの取り組みは、又は電話機の購入補助の取り組みは出来ないか

答弁 中村警察署で貸し出しを行っている。又電話機購入補助の取り組みは現在検討している。

質問 幅多広域消費者センターや中村警察署に寄せられた高齢者の被害・相談内容は把握しているか



した女性に適切なケアを

し流産や死産を経験した女性に適切なケアを

日常生活での対処方法などを多彩な手法を通して支える仕組みである。又心のケアという意味でも必要な支援であると考えている。

質問 流産や死産を経験した方に対しても本市はどのような取り組みを行っているのか

答弁 対象者には医師の診断や産後うつの質問票、又身体面や精神面の状態を確認する産婦検診や産後ケア事業があり、これらの結果から支援の必要性がある場合子育て世代包括支援センターで必要に応じて支援を行っていく。

質問 本市におけるグリーフケアの認識は

答弁 広報誌や各地区の回覧にて詐欺や消費者トラブル等の事例や対処法を掲載している。

答弁 現状本市のコンビニにAEDを設置している店舗はない。設置には費用負担等が伴い又本市のコンビ二周辺には既に財団登録済みのAEDが多くあり現時点では不要ではないかと考えている。

質問 24時間対応のコンビニエンスストアにAEDの設置の推奨はできないか

答弁 本市で管理しているAEDは全体で89基、その内屋内設置は59基、屋外設置は30基。

質問 本市の詐欺防止の取り組みは

答弁 令和3年度において通信販売の契約等に関する相談が最も多かつた。又高齢者の詐欺被害はなかつた。

質問 本市におけるグリーフケアの認識は

答弁 大切な人を失い深い悲しみの中にある方に対して医療従事者のカウンセリングや専門プログラム

質問 同じ経験をした方との交流の場が必要ではないか

答弁 現状本市にはグリーフケアに対応した交流の場はないが本人の話を聞きケアする中で必要に応じてSNSを活用したり取組等の紹介も行いたい。

川村
一朗議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

*人口増、地域活性化をめざして! *予土線存続、50周年に向けての活発な取組を! *デマンドバスの地域の実情に合った運行を!



移住者への取組に 予土線の存続について

質問 2段階移住の実績は。本市として移住者へのアピールや求める人材は

答弁 平成30年から令和3年で、1段階目の高知市へは158組で内、2段階の移住が22組。幡多は3組だが、四十市は0。特定の業種の人を優先することはない。

質問 高知県と愛媛県の対策協議会の現状は

答弁 現在は別組織だが来年度に一本化の予定。存続のために一体となつての取組を進める。総会は年1回。幹事会は必要に応じて開催。高知県の事務局は四十市。会長は四十市長。

質問 愛媛県の促進会議会



答弁 支援団体のNPO法人につなぐため、県人会や成人式等で広報活動もした。地域への補助については、移住者受入への意欲喚起のために地域への補助の考えはない。

質問 要所要所で市長から存続を呼び掛けている。

デマンドバスの活用について

質問 2年後に予土線50周年を迎える。50周年に向けて、市民の関心を高めるために、写真展や学校統廃合で出てくるピアノを駅に置くことも提案したい。具体的な計画はあるのか。また江川崎駅のポップアートのための改装の時期と内容は

答弁 50周年は両県で目玉となる企画を協議中。市民からの提案はありがたい。江川崎駅は星空の街をイメージしたものが来年3月に完成予定。

質問 対策協議会が川柳のコンテスト、12月にはトロッコ列車を含む予土線3兄弟の連結列車が運行されましたが、市民への広報活動が不十分ではないか



答弁 今後は、市の広報やHPの活用、新聞報道等にも働きかけていきたい。

質問 バス路線のある国道沿いは対象外となつたが、国道までの距離が何キロもある所がある。また、国道沿いでも老々介護の中では既定のバスだけでは不便になつたとの声がある。デマンドバスの活用や他の手立てはないか。住民の利便性に応じた柔軟な運行はできないか

答弁 バス利用に関するアンケート調査を行いたい。また区長会を通じて地域の二ーズの把握に努めた。急な変更は陸運局の許可が必要であり困難。中山間地では柔軟な対応が必要なことがあります。国に要望していきたい。



大学誘致断念について どこに問題があったのか、誰がどう責任を取るのか 中学校の再編について 小規模校を選択できる体制が必要ではないか



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 市の支出済み経費はいくらくらいですか

答弁 旧中医学研究所は、備品の搬入を除いてすべて完了した。旧下田中学校校舎の改修は工事全体の3割程度である。

質問 旧中医学研究所及び旧下田中学校の跡地利用は具体的にどう進めるのか

答弁 例えれば市民も入る活性化委員会などを組織して進めしていく方法がいいのではないかと考えている。

質問 旧中医学研究所と旧下田中学校校舎の改修はどこまで行われたのか

答弁 認可と学生確保は法人が責任を持つという役割分担により、法人に任せてきた。

質問 学生確保について市は独自の検証を行ったか

答弁 認可と学生確保は法人が責任を持ち、施設は市が責任を持つという役割分担により、法人に任せてきた。

質問 学校法人に対して損害賠償を求めるのか

答弁 顧問弁護士と相談しているところである。

質問 保護者の合意形成ができないのに、昨年7月26日に臨時教育委員会で、再編方針を市長案通りに決定したのは誤りではなかつたか

答弁 保護者から委ねられた市長判断について、教育的見地から再編の必要性を協議・確認した上での方針決定であり、問題はない。



旧中医学研究所

質問 長期的安定的な学生確保の認可要件を充足する保障がないことと、上限としてきた10億円を大きく上回る財政負担はできないことが理由である。

質問 誘致断念の理由は

答弁 合計4億1903万9919円である。

質問 市長はどう責任を取る

質問 市長はどう責任を取る

答弁 出来上がったものを有効活用し、地域振興と活性化につなげていくことで責任を果たしたい。

質問 中学校の再編について

質問 2018年、第1回の学校再編アンケートで、下田小学校区の統合賛成反対の割合は

答弁 統合賛成14%反対81%である。

質問 2019年2月に市長・教育長に提出された下田中学校の存続を求める署名の数は

答弁 2444筆である。

質問 大きな学校では一クラスの人数が多くなり、そういう教室になじめない生徒は必ずいる。一人一人に目が行き届き丁寧な対応ができる小規模校を選択できる体制が必要ではないか

答弁 小規模校を残すという考えではなく、規模の大きな学校で、子ども自身が人間関係を構築したり、自分の居場所を見つけたりし、子ども自身がたくさん生活できる、そこを教員がサポートしていく、そういう取り組みを行いたいと考えている。



旧下田中学校校舎

松浦 伸 議員

本市の歴史・文化を後世に 空き家対策 四万十鮎の振興を



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

四万十市史の刊行について

本市の刊行状況を問う

答弁 行政が刊行したもの

は中村地域で昭和25年に
中村町史、昭和44年に中村
市史、昭和59年には中村市
史続編が刊行されている。
西土佐地域では昭和45年
に西土佐村史、平成21年に
は新版が刊行されている。

質問 今後の取組みを問う

質問 本市の歴史文化を後
世に残していくために、し
っかりとした内容の市史
の作成が必要と考える。ま
た、学校教育等にも使用で
きる簡易版の作成も必要
ではないか?

答弁 市史は市の歴史文化
を語る基礎となる図書で

あり、今後長く市民の皆さんにも使い続けていた
くことができるよう、資料収集や調査を十分に行
い、バランスのとれた質の
高い市史を編纂したい。

また、記述が難解でなく
学校等でも使い易いしつ
かりとした資料を目指し
ていきたい。

本市空き家の利活用について

空き家の解消、利活用について本市の取組み状況を問う

答弁 活用に関しては数字

的なデータを掲むことが
非常に重要と考え、空き家の
所有者、空き家の活用が
見込まれる子育て世代双方
に対してもニーズ調査を
実施した。

所有者の調査では行政
に地域のために利活用し
てほしい。という意見が約
1割、多くの方は賃貸した
い。売却したい。といつた
民間の活用を望む意見だ
った。

子育て世代の調査では
賃貸や、売り物件として活
用してほしい。という意見
が約6割。8割以上の方々
が民間活用を求めている。
この調査結果から空き
家を貸し借りしたい方、売
買したい方の需要と供給
のバランスは取れており、
双方をマッチングする基
盤づくりができると考え

た。来年度より、市と不動
産事業者が共同して空き
家の活用に向けたマッチ
ングモデル事業に取組む。

四万十鮎の振興について

あゆ王国高知振興ビジョンが策定された。本市の取組みは

答弁 本市の産業振興計画に

も位置付けられており、こ
れまで以上に販売展開を拡
大できるよう四万十天然鮎
のブランド化、より一層の
高単価での販売に向けて、
各漁協とも連携して取組み
を進めていきたい。



市議会だより

寺尾 真吾議員



保育の将来像と修学旅行

**パパママにやさしい
保育は「規模適正化」が力ギ**

行っていないため、子どもも子育て会議の意見も含め検討する。

質問 子育て世帯から保育料が高いという意見がある。国の定めた上限額や人口が近い市と比較すると本市は高い方。現在の保育料はいつ定めたものか

答弁 平成27年に定めた。

質問 市長見解は

答弁 子育て支援は国の政策で進めてほしい。市長会等でも要望していく。本市の公立保育所の公定価格総額は6億8318万7000

円。対して歳出額は3億4657万4000円上回る。ゆえに約10億円を公立保育所に使う。また、民間の公定価格総額は1億8991万9000円、市からは公定価格を上回る委託費は払ってない。また今年度の保育所職員の人事費は保育所運営費の86.8%を占める。しかし、実際の保育料収入額は約4000万円。公立保育所の利用者負担割合は国想定の約30%。

質問 保育料の必要総額とその根拠は

答弁 必要総額は国が利用者負担を2割、公費負担を8割と示し、公立保育所の運営費で換算すると1億3600万円程度の徴収が必要。しかし、実際の保育料収入額は約4000万円。合は国想定の約30%。

質問 子育て世帯の生活にやさしい保育料となるよう見直しは

答弁 前回改定から7年が経過。そこから改定検討を

質問 保育所の規模適正化は保育料の減額につながるか

理由は公立保育所の数が多いことによる職員の多さにある。

答弁 規模の適正化は経費削減となるが、保育料の減額にはつながらない。

質問 公立保育所の歳出が上回る中、再編の進め方は

答弁 10名を切る保育所や、耐用年数を超えてきた施設を優先、地域と対話をして進める。

質問 地域の声は大切だが、10年20年先を見据え、本市は将来的な保育所規模をしつかりと示す必要がある。市民代表を入れた保育所規模適正化検討委員会の検討を

答弁 令和7年度から始まる第3期保育計画策定の協議にあたり検討する。

質問 「万博」子どもの成長の場として期待

答弁 2025年の大阪・関西万博は子どもたちにかけがえのない時間を提供でき

ると聞く。修学旅行先としてはどうか

答弁 大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。修学旅行の目的（平和学習等）を達成できる貴重な体験の機会となる。各学校に情報提供し、環境面や安全面を含め相応しいか判断し、候補地として検討できるよう校長会等でも伝える。



大阪万博の説明会



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

川村 真生議員

子育て世代に四万十市独自の支援対策を 四万十市の魅力を活かした観光誘致政策



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

保育所給食費の完全無償化について

質問 ウクライナショツク

以降、物価高による悪影響が深刻だが、本市でも昨年度より購入する食材費はどうほど高くなったか

答弁 公立保育所については、来年度以降、無償化の方向で決定している。

経済負担軽減への取り組み

質問 国の児童手当に加算して本市独自の児童手当を一定額支給する、あるいは児童手当の支給対象外の高校生も対象とし、一定額を支給する等、独自の取り組みは出来ないか

現時点での制度内容も不明の為、先行導入は難しが引き続き国・県と連携し情報収集に努めている。

質問 現金給付する制度を本市で先行導入できないか

質問 より安価な食材を選定する等の作業が増え、職員の業務負担は増えていないか

答弁 乳製品や小麦粉、油類の高騰が特に顕著だが、揚げ物を減らす等、メニューの工夫や、地元野菜等の単価を維持して頂いているので昨年度並みに抑えている。

答弁 令和4年3月末の0～18歳人口4647人に、経済負担軽減策として効果を感じられる額を給付すると、経常的な財政負担が増加し、他の子育て支援策を拡充・継続する上でも実施は難しいと考えている。

自営業者や非正規社員も出産しやすい環境作り

質問 政府で検討が始まつた自営業者や非正規社員の方に、出産後に一定期間、

質問 新たな体験プログラムの導入計画は

質問 教育旅行の誘致にあたり、特に力を入れている取り組みとPR方法は

答弁 四万十川の豊かな自然を生かしたカヌーや観光遊覧船、サイクリングの他、SDGsを取り入れた学習館での学習等、体験プログラムに力を入れており、幡多広域観光協議会や観光協会と連携して、旅行会社に対して誘客のPRをしている。

進教育旅行の誘致促進への取り組み



観光遊覧船

質問 現在は旅行会社への直接的支援はしていないが、他市町村の状況や効果を研究し、まずは助成金や割引がなくとも教育旅行先に選ばれるよう努力したい。

質問 体験プログラムができる施設の利用者が年々減少しているが、旅行会社への助成金制度や、本市での宿泊を条件とした入館料や体験料の割引制度導入による利用者増加策についての見解は

質問 田舎暮らし体験を令和5年度当初からの再開に向けて準備を進めている。



認定こども園について 中学校の校則について 大学誘致断念について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



質問 地域に開かれた園と言るのはどのような園か

答弁 地域においてこども園が、地域の人達、保護者の人達をつなぐ拠点として、また交流により、地域の方に子供たちの教育保育に参画してもらう運営を目指している。

質問 曖昧な項目があるが、教職員がそれぞれに判断をしているのか

答弁 確かに校則の中には曖昧な表現があり、それぞれ

質問 協定書に書かれている、園に対しての運営上の指導とはどのようなものか

答弁 法の規定に基づき、法人として遵守すべき事項について、運営の実態の確認を行う事によって適切な運営、健全な経営の確保を図るものとしている。

質問 中学校の校則について川渕議員から質問を受けその後どの様な議論等がされたのか

質問 各中学校でも、時代の流れや社会情勢の変化に応じて、見直す必要がある校則については積極的に見直して欲しいと各学校長に伝えている。

質問 その中で、学校長としては、校則の改正については、児童生徒、また場合によつては、保護者の意見を大切にする事、校則を見直す際には、児童生徒が積極的に関わり、主体性を養うとともに、校則の意味を自分で事として捉える事が出来る様にしているとの事でした。

質問 荷物検査をする理由は、持ち物に名前が書かれていないか、忘れ物がないか、不要な物が入っていないか確認する為に行っています。

質問 保護者の方から聞くと、荷物を修学旅行前日に学校に預けてそこから荷物検査を下着まですると言つていました。

質問 実際にこのような事が行われているのか

答弁 結論から言いますと、行われています。



質問 私は副市長の役割として市長の補佐役と共に市長のブレー・キ役も求められると思う。

質問 今回の誘致断念について責任や役割について現在どの様に受け止めているか

質問 今回の大学誘致は断念せざるを得ない結果になつた事については、その責任を強く感じている。市の役割として、大学施設の整備を色々議論するなかで、実現性と、またそういうふた可能性は私自身も認識した上で、進めるべきと考えていたので、この政策を止めるといった意見を言うところにはいたつていなし。

質問 中学校の校則について

質問 大学誘致断念について

れの先生が判断をし、一貫性のない指導が行われていると困るので、そういう場面に遭遇した場合は必ず個人で判断するのではなく、生徒指導部を中心とした、職員会議等で意思統一をして指導をするよう

にしている。

質問 大学誘致断念について

鳥谷 恵生議員



地方の土地を外国資本から守る条例制定を 観光→移住につながる導線強化を



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

学校給食について

観光政策について

質問 移住政策との連動の状況は

質問 コロナ禍から経済回復するための観光客増加に向けての取組みは

答弁 学校給食のHPでは「四十万ふるさと給食」という本市の特徴ある給食を掲載しているので、移住関連サイトやパンフレット、移住相談会などでも積極的にPRしていきたい。

質問 市長の学校給食の取り組みの見解について

答弁 全国オーガニック給食フォーラム実行委員会から市長メッセージの寄稿依頼があるので、そこで市長として発信をする予定。また國の方針である「みどりの食糧システム戦略」にのつとり、市としてもオーガニック・有機の取組みも進めていきたい。

市所有の駐車場利用状況について

質問 本市所有の駐車場の状況は

答弁 本庁駐車場は、平日は1日7回、休日は5回、駐車台数を確認している。平

外資による土地取得の規制に関する地地取得の規制について

質問 外資による土地取得の認識について

答弁 外国資本が森林・農地・観光地などを積極的に買収していることは把握している。また、外国人が見えることで治安の悪化や日本人の失業を懸念する意見があることも認識し



日の11時から正午、14時から15時の時間帯は9割程度の利用状況となる。夜間も金曜日18時以降は満車となることが多い。

質問 住民サービス向上、商店街活性化のために本庁の駐車場を増やせないか

答弁 新たに駐車場を確保するには一定の経費が必要となり、満車の状態が続いている状態ではないため、駐車場の拡張は考えていない。

質問 民法第207条には、「土地の所有権は、法令の制限において、その土地の上下に及ぶ」とある。土地を取得されてからではトラブルになるので規制の準備が必要では

答弁 土地取得の規制は私権の制限に関わることなので慎重に対応したい。しかし、先手を打つことは重要なと認識している。他市町村でも条例で規制しているところはあるので参考しながら対策を検討していきたい。

ているが、本市においてはそのような危険性を感じないため、当面の間規制するつもりはない。

市議会だより

上岡 正 議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

看護大学誘致断念について

京都看護大学の市の補助金

質問 市長、5条の交付要件の文部科学省の認可を受けているのに、全額支払つた。どうするんですか？

質問 市の補助金交付要綱には、5条の支払う条件は認可指定を受けなければならぬこと。また7条では、5項では文部科学大臣の認可を受けた証の書類とあるが、補助金3億1870万9919円が4月と8月に全額支払われているが、非常におかしいと思つております。支払いは要綱に違反しているのか、していいのか明快なご答弁をお願いします

答弁 5条の交付条件に違反した場合は、四十万市補助金等交付規則第17条に基づいて交付の決定の全部、または一部を取り消すことが出来るとなっています。取り消しの部分に関しては、既に補助金を出している場合については、その返還を命ずるものとされています。補助の決定を取り消した場合は補助金の返還を求める事となります。今回のケースが交付決定の取り消しに当たるかどうかかも含めて市の顧問弁護士と協議中であります。

質問 今現在、市が大学誘致事業にどれだけ支払つているのかお答えください

答弁 大学推進室の方で支払っている金額について

は、補助金の額と請負業者への前払金で4億1870万9919円になつてます。その他下田中学校のビル解体工事・テントの購入・備品の運搬費、約1400万円になります。

質問 私は特別おかしいとは思つておりません。見解の相違です。

旧下田中学校の改築工事

質問 私は議員と違い技術的な数字は分かりませんが、議員が言いました6割というのが一定の線かなと

いう思いはしています。

答弁 この補助金を概算払とする事、また全額交付する事は、本市の補助金等交付規則、第16条に、市長が補助事業等の性質上適当と認める時は、補助金等の全部または一部を概算で交付する事が出来るとなつてますので、この規定に基づいて概算払いをしました。

この補助金を概算払とする事、また全額交付する事は、本市の補助金等交付規則、第16条に、市長が補助事業等の性質上適当と認める時は、補助金等の全部または一部を概算で交付する事が出来るとなつてますので、この規定に基づいて概算払いをしました。

質問 下田中学校の改修工事は請負金5億5000万円であります。その内前払い金で1億円払つておりますが、工事中止までの出来高清算金及び賠償金で、請負金額の60%程必要であると思う。そうすると、全体事業費は6億5000万円程の市費になりますが、市長は、どのようにお考えでしょうか？



質問 市長は政治家の責任の取り方は、辞めるか仕事で返すかとの発言があつた。仕事で失敗したのに報道では後始末をつけるとするのにおかしいのではないかですか？

答弁 私は特別おかしいとは思つておりません。見解の相違です。

谷田 道子議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

☆東山小学校の建て替えに伴う 通学の安全と学童の運営について ☆学校の給食費無料化を 来年度も継続するように求めて ☆大学誘致に伴う市長の政治責任を問う



東山小の建て替え について

小中学校給食費の 無料化を求めて

大学誘致に伴う 市長の政治姿勢 を問う

答弁 東山小学校の仮設校舎が安並に来年建設予定となっている。それに伴い児童の通学の安全と現在敷地内で運営されている学童の場所について聞く



質問 東山小学校で給食費を完全無償化する動きがいついている。実施している自治体も様々な苦労をして財源を捻出している。本市でも、子育て支援策としてふるさと基金などを活用しての無償化を検討出来ないか聞く

答弁 令和7年度の1学期末には現在地に新校舎が完成予定。来年11月頃から安並温水プール北側に建設予定の仮設校舎へ移転することになる。自転車通学が出来ない1、2年生のうち通学距離が概ね4kmを超える児童を対象に登下校用のスクールバスを検討している。



答弁 活用できる財源があれば適宜検討していくが、恒久的な施策とする場合には安定的な財源の確保が必要だ。子育て支援策は大変重要な施策だが、全てを無償とすることはなかなか困難と考える。



質問 これまで市長は「反対意見にも真摯に耳を傾けて、取り入れられる意見はないか、改善できる点はないか心掛けている。ただ最終的には、自分が判断し、決断をする。」と言つてきた。大学誘致については、府内で十分に議論が行つたようには思えない。自分が判断し、決断するという思いが強過ぎて、トップダウンになつていたのではないか

答弁 大学誘致については、確かにトップダウンで進めたというのは現実。

答弁 確かに、私はトップダウンで多くのことを進めてきた。

質問 市にとつて大事な案件、大きなプロジェクトだ。その事業、府内の英知を集めて意見を聞き、チェックしながら進めてきたようには思えない。もう少し府内での議論を重ねてきたなら、このような結果にはならなかつた。大学誘致についてどのように総括をされているのか聞く

答弁 この大学以前にも、図書館の民間委託、そして中学校の給食、これをやるという形で、部下に指示をして早急に進めた。ワサビの実証栽培も、私の完全なトップダウンで進めた。

トップダウンでやるといふのは、自分の性格上そういう形になつていたので、今後一つの反省にしていかなくてはいけないのではないかと考えている。



具同保育所移転改築工事実施設計プロポーザル 新食肉センター整備事業 指定管理のかわらっこの管理運営 黙食について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

質問 判断に誤解や混乱を招きそうな文言については、要件等を定めてはどうか

答弁 市として明文化しているものがないので、プロポー

質問 基本的には賃貸契約の有無や電話回線の契約等の確認を行うところまでは考えていない。

答弁 今回は営業実態の確認に職員2名が現場に出向いたことだが、電話回線や賃貸の契約確認はしているのか

質問 県外から7割、市外から3割で市内の養豚場は無い状態だ。養豚場の誘致について現在の考えを問う

答弁 その場所で事業活動実態があるのかないのかこれに尽きたとを考えている。

質問 県外から7割、市外から3割で市内の養豚場は無い状態だ。養豚場の誘致について現在の考えを問う

質問 この実施要領の参加資格要件1、四十市に本店もしくは事業所（営業所・支店等）を有するものとあるが、この営業所は何を根拠としているのか

質問 具同保育所移転改築工事実施設計プロポーザルについて

ザルを実施する各部署において参加資格要件の審査を行った際に判断している。

新食肉センター整備事業について

質問 今までの経緯を鑑みて、県の協力は最大限お願いしたいが、県との交渉の進捗はどうか

答弁 現在も交渉中で、応分負担については基本設計が出来上がった後になりそうだ。

質問 以前より示している施設整備費約51億円は整備に関するすべてを含めてのものか

答弁 引き続いて養豚場の誘致に取り組んでいく。

質問 県外から7割、市外から3割で市内の養豚場は無い状態だ。養豚場の誘致について現在の考えを問う

答弁 11月25日付けの見直しにより黙食の記載が削除され、これに伴い給食時の黙食の必要がなくなり会話も可能と解されるようになった。またマニュアルでは、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた上で給食の時間において、児童生徒の間での会話をを行うことも可能という事務連絡も発出されている。

質問 管理運営に関する協定書の第16条、業務日誌の作成状況は把握しているか

答弁 任意のもので記録していたので、様式に従って作成するよう改善を指示した。

質問 指定管理のかわらっこの管理運営について

国の方針に変化があったがどのように変わったのか



質問 カヌー体験やツアーリングを受け入れは安全第一としての運行基準にそつた運営がなされているか

答弁 様々な基準を設けていて、受け入れ時にはそれらを遵守して安全に運行できていると認識している。

質問 本市の対応を問う

答弁 黙食を画一的に行う必要はなくなつたが、各学校の感染状況に応じて、必要な局面では、感染予防対策として会話を控えるよう教員が指導する場面もあると思う。

質問 国の方針に変化があったがどのように変わったのか

上岡 真一議員



学校教育について 住み続けられる町づくりについて



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

教職員の支援について

質問 自信と自覚を持つて教育現場に立つ教員が、モンスター的な保護者や、同じ学校現場の上司や同僚から嫌な目に遭った場合に、教育委員会は体を張つて教員を守つて欲しい

日本一の教育市について

質問 令和4年度の全国学力調査では、本市の義務教育の学力は、全国トップレベルである。日本一の教育市として取組んでいくとアピールすべきである

答弁 教職員が1人で問題を抱え込む事が無いように学校長を中心としてチーム、また組織として対応するよう、学校に助言もし、サポートしている。また、優秀な教員が働きやすい環境を整えることに、委員会として専念している。



内向的な子どもの支援について

質問 令和4年度学習状況調査では、内向的な子供も存在する。この様な子供への支援は

答弁 心配される子供は割合少ないが、一定数いることを確認している。その子供達については、本調査での結果や、各学校が実施している生活アンケート、また、Q&U等で子供達の実態

答弁 学力向上の取組みや、一人一人を大切にした教育を、本市で取組む事によって、自然と四万十市の教育が、四十市の教育をアピールする事に繋がつていけばベストだと思う。

DVについて

質問 中学校の早い時期に人権学習の中で、データDVについてしつかり学習しなければ、パワハラやセクハラがなくならないと思う

答弁 全国的にもDV被害者が増加傾向にあることからも、各学校において、人それぞれの違いを認め、相手を理解し、大切にし、思いやりの心を育てるなど的人権教育を確実に実施していく事が重要である

を把握し、気になる子供には、個別で面談を実施するなど、丁寧に対応している。

資源ごみのSDGsについて

質問 資源ごみのSDGsの取組を2050年までにゼロカーボンを目指すという趣旨を鑑み、3年間を想定でなく、長期的な取組を行うべきではないか



答弁 2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロとする宣言の実現に向けての取組であり、3年間で推進を終了するものではないが、市民へのゼロカーボンシティ宣言に係る啓発、周知にかかる期間について、3年を目途としていることから、交付金についても3年間とされている。交付期間につきましては最終年度の令和6年度に、市と区長会との間で協議の場を持つこととしている。

市議会だより

廣瀬 正明議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。



移住者増を目指して交流人口を増やそう

牧野富太郎「ゆかりの地めぐりマップについて」

質問

四十市には牧野博士が発見し世に知られることとなつた植物「オオクサボタン」があり、四十川の美しい景色もある。



オオクサボタン

四十市が「ゆかりの地めぐりマップ」に掲載されなかつたのは何故か?

四十市、観光博覧会に向けての四十市の今後の取り組みは?

多くの観光客が四十市まで足を運んでくれるよう情報発信をしていく。

下田地区の防災対策について

質問

下田地域の代表者との話し合いは進んでいるのか?

予想する避難者全員が利用できる施設か?

衣類の備蓄について具体的に取り組むべきではないか?

宜配備を考える。

旧下田中学校校舎は利

用可能になれば避難所とし、下田地区の避難所機能の充実を図る。

衣類の備蓄は具体的の望等があれば意見を伺いながら取り組みを進める。

市民の困りごとと考え市民の困りごとと考え

解決に向けて努力すべきと考えている。

越し等で飼い猫が飼い主の

いない猫になることもあり、捨て猫事件、猫が刃物で切られる事件も発生している。

飼い主のいない猫が増えていると聞いている、引っ

保育所について

質問

子ども達に規制を与えない保育所について市の考えは?

3歳児クラスに保育士を加配し、のびのびと保育園生活を送れるように出来ないか?

猫の避妊手術について

質問

飼い主のいない猫が増えていると聞いている、引っ

越し等で飼い猫が飼い主の

いない猫になることもあり、捨て猫事件、猫が刃物で切ら

れる事件も発生している。

市民の困りごとと考え市民の困りごとと考え

解決に向けて努力すべきと考えている。

越し等で飼い猫が飼い主の

いない猫になることもあり、捨て猫事件、猫が刃物で切ら

れる事件も発生している。

市民の困りごとと考え市民の困りごとと考え

解決に向けて努力すべきと考えている。

四十市が参考にできるような取り組みを行っている市町村は無いか?

四十市で取り組めるこ

とは無いのか?

近隣の市の取り組みでは、県の「集中的手術枠」を活用し動物愛護団体と連携共同して避妊手術等を実施している。

四十市として動物愛護団体・ボランティア団体と早急に話していきたい。

間の提供は意義があると見えるが職員確保が厳しい中、障害児保育等に優先的に配置しながら工夫していく。

避難スペースはテントを含めれば1100人程度、非常用発電機については、電気・水道の復旧後、適



四万十市中・高生議会 将来を担う世代が一般質問に登壇

21名の中・高生議員が出席

中・高生議会は、中村青年会議所主催の職業体験イベント事業に市議会として協力参加したもので、11月13日(日)に開催しました。当日は、中学校から5校10名、高校から2校11名の議員が出席し、そのうち中学生5名、高校生6名が一般質問に登壇しました。

実際の議会の作法に準じて実施

一般質問の内容は四万十市の行政全般ということで、生徒の皆さんにはそれぞれ地域に関わる課題や要望、市政に対する意見等を質問事項としてとりまとめ、執行部に対し事前に「一般質問通告」を行いました。議会当日に、中・高生議員は、この通告に従い質問を、執行部は答弁を行いました。

本市議会の一般質問は通常、一問一答方式(60分)、または一括方式(40分)で行われますが、今回は7分の制限時間の中で、①議員が質問 → ②執行部が答弁 → ③議員が感想を述べるという形での一問一答方式を行いました。

議長は交代制

議会の前半は中学生議員による一般質問で、議長は高校生議員の中から幡多農業高等学校の細川文旦さんが務め、後半の高校生議員による一般質問は、中学生議員の中から中村中学校の福田民枝さんに議長を務めていただきました。

質問は多岐に

一般質問は、地震時に空き家が及ぼす被害、学校現場におけるLGBTQへの理解・取組み、避難所の感染症対策、農業後継者確保など多岐にわたりました。市政に関わる重要な質問に、市長、教育長、所管課長からも真摯な答弁がございました。

今回の議会をきっかけに、中・高生の皆さんのが自分達の住む地域について興味や問題意識を持って生活していただきたいと思います。



四万十市中・高生議会 一般質問通告表

| 質問順位 | 学校名 | 質問通告内容 |
|------|----------|---------------------------|
| 1 | 下田中学校 | 空き家の取り壊しについて |
| 2 | 中村西中学校 | 公約に掲げる令和時代を担う人材について |
| 3 | 中村中学校 | 四万十市の予算の教育費への使われ方について |
| 4 | 西土佐中学校 | 西土佐地域の活性化について |
| 5 | 県立中村中学校 | 四万十市の学校現場における性の多様化について |
| 6 | 中村高等学校 | 四万十市の観光の方法について |
| 7 | | 医療サービスの充実による少子高齢化対策について |
| 8 | | 避難所での感染症対策について |
| 9 | 幡多農業高等学校 | 四万十市の林業について |
| 10 | | 高校卒業後の進路支援について |
| 11 | | 新規就農者に対する支援、新規就農者確保のための対策 |

※大用中学校は学校行事のため不参加でした。

出席議員(敬称略)

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 下田中学校 | 部府 千夏(3年) | 山本 茜里(2年) |
| 中村西中学校 | 尾崎 成琉(3年) | 笹内 澪(3年) |
| 中村中学校 | 酒井 聖(3年) | 福田 民枝(3年) |
| 西土佐中学校 | 松岡 威子(3年) | 濱田 美羽(2年) |
| 県立中村中学校 | 宮崎 寧々(2年) | 小山 智大(2年) |
| 中村高等学校 | 浦田 桜奈(2年) | 谷 くらら(2年) |
| 幡多農業高等学校 | 伊勢脇凰雅(2年) | 水野 来美(2年) |
| | 田邊こころ(2年) | 松田 華音(2年) |
| | 田中 小夏(3年) | 三代木裕仁(3年) |
| | 藤田 栄(2年) | 細川 文旦(2年) |



YouTubeで動画が視聴できます

今回の中・高生議会は、YouTubeでライブ配信を行いました。アーカイブが保存されていますので、いつでも視聴ができます。YouTube画面から「四万十市中・高生議会」で検索していただくか、下記のQRコードからご視聴ください。

中学生議員による一般質問



高校生議員による一般質問



会議録がパソコン等で検索できます。

議会本会議の会議録は、本庁ならびに支所の図書館で閲覧できます。

「●●議員の一般質問を読みたい。」、「『財政健全化』に関する発言を探したい。」というふうに、あらかじめ探ししたい項目が決まっている場合は、ホームページの「会議録検索システム」で検索すれば早く見つけることができます。

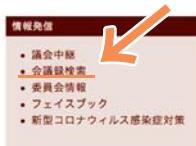
四万十市議会のホームページ中段の「会議録検索」をクリックすると会議録検索システムに入ることができます。ぜひご利用ください。

四万十市議会 SHIMANTO CITY COUNCIL

市民とともに

新着情報

- 2022/12/07 令和4年四万十市議会12月定期会 一般質問通告表を掲載しました
- 2022/11/01 議会だよりNo.71を掲載しました。
- 2022/09/07 令和4年9月定期会一般質問通告表を掲載しました。



四万十市議会 会議録検索システム

会議録を検索する
会議録を閲覧する
発言集を作成する
スマートフォン版



会議録検索システムのQRコードです

令和4年度各委員会の活動状況

総務常任委員会

委員会の開催

| 開催日 | 調査事項・付託議案 |
|---------------------|--|
| 4月26日 (第2回臨時会) | ・正副委員長の選出 |
| 5月30日 (閉会中) | ・令和4年度主要事業概要 ・大学誘致のこれまでの経過と今後の見通し |
| 6月24日 (6月定例会) | ・大学誘致推進事業にかかる報告 |
| 6月28日 (6月定例会) | ・大学誘致推進事業にかかる旧下田中学校の土地・建物使用貸借契約 |
| 7月12日 (閉会中) | 管内視察 ・中筋川ダム ・相ノ沢川総合内水対策事業 ・旧下田中学校 ・大川筋ヘリポート ・大川筋集落活動センター準備委員会委員との意見交換 |
| 7月19日 (閉会中) | ・契約締結の手続き |
| 8月25日 (閉会中) | ・普通財産の管理及び利活用 ・防災コミュニティセンターの導入経緯と活用状況 ・大学誘致の進捗状況等 |
| 9月5日 (9月定例会) | ・付託議案2件の審査 |
| 9月20日 (9月定例会) | ・付託議案6件、請願1件、陳情1件の審査 |
| 10月18日～20日 (閉会中) | 行政視察(北海道) ・胆振東部地震(千歳市) ・学校運営や地域との協働、連携等(北洋大学) ・北洋大学との関係、RPAの活用による業務の効率化にかかる事業(苫小牧市) |
| 11月18日 (閉会中) | ・地震等の発災時におけるSNS等でのデマ情報などへの本市の対応 ・地域おこし協力隊の現在の状況 ・大学誘致の9月議会から今委員会までの経過と今後 |
| 12月16日 (12月定例会) | ・付託議案13件の審査 |

行政視察(10月18日～20日：北海道)

いぶり

千歳市での胆振東部地震については、実際に経験したことから多くのことをお伺いでき、デマや観光客に対する対応など勉強になりました。北洋大学では現地の状況、学長の教育観や生徒数の状況、大学の今後についてなどの確認ができました。苫小牧市での北洋大学との関わりでは北洋大学が開学するまでの経過等をお伺いでき、地域での大学の存在について理解が深まり、本市との違いや現状での必要性等を聞くことができた視察となりました。

続いて、AIやRPAなどの活用による業務の効率化をお伺いし、その効果や進めるにあたっての注意点等を確認できました。人口減少等を考えるとデジタル化による業務改善は必須だと実感できました。



管内視察(7月12日)

午前は手動で事前放流が可能になったことで中筋川ダムを視察。午後は来年度出水期までに完成を目指す相ノ沢川総合内水対策の進捗について現場での確認。その後は旧下田中学校や大川筋ヘリポートを視察し、最後は大川筋集落活動センター準備委員会を視察。集落活動センター立ち上げに向けての現状と今後の活動内容や将来の見通し、運営等について意見交換ができ、今後の地域の核となるセンターになることがイメージできました。今回の視察では現地や周りの状況、またその規模感がわかり現場のご苦労を感じ取れました。また今後の地域にとって役立つことが期待され、有意義な時間と機会となりました。



産業建設常任委員会

委員会の開催

| 開催日 | 調査事項・付託議案 |
|--------------------|--|
| 4月26日 (第2回臨時会) | ・正副委員長の選出 |
| 5月31日 (閉会中) | ・令和4年度主要事業概要 ・『川とともに生きるまち』に根差した漁業資源回復の進捗状況 ・(一社)幡多地域森づくり推進センターの進捗状況 ・道の駅『よって西土佐』毎年の指定管理料の支出状況 ・四万十市農業紹介動画の成果 |
| 6月24日 (6月定例会) | ・付託議案2件の審査 |
| 8月16日～18日 (閉会中) | 行政視察(新潟市) ・イノベーション施設「NINNO」 ・アグリパーク ・ミズベリング信濃川やすらぎ堤 |
| 8月24日 (閉会中) | ・道の駅『よって西土佐』毎年の指定管理料の支出状況 ・ぶしゅかん振興の進捗 |
| 9月20日 (9月定例会) | ・付託議案1件の審査 |
| 10月24日 (閉会中) | 管内視察 ・国道441号トンネル工事現場 ・ぶしゅかん栽培地(川登地区) ・デジタルオペレーションセンター四万十 ・ピーマン栽培ハウス(安並地区) ・四万十市商店街振興組合連合会 |
| 11月25日 (閉会中) | ・地域おこし協力隊の活動実績 ・かわまちづくりの進捗状況 ・本市農産物等の状況 ・西土佐地域の四万十川河川調査 ・新食肉センターの進捗状況 |
| 12月16日 (12月定例会) | ・付託議案3件の審査 |

行政視察(8月16日～18日:新潟市)

新潟市ではイノベーション施設「ニーオ」、日本初の公立教育ファーム「アグリパーク」、6次産業化、信濃川やすらぎ堤かわまちづくりを視察。ニーオでは施設概要に併せ、関係団体の事業説明もあり、例えば三条市の「キッザニアマイスターフェスティバル」、次の10年を創るべく、子どもの工場体験事業の説明などもありました。次にアグリパークでは担い手となる子どもの農業体験だけでなく、就農や食品加工支援プログラムを実施し、地域全体で農業振興を図る意欲が伺えました。最後に、本市でも実施予定のかわまちづくり事業は信濃川の優良事例からハード整備の考え方と官民一体が成功のカギと学びました。本市でも活かしたい取り組みを伺う視察となりました。



新潟県最大級のイノベーション施設「ニーオ」の視察

管内視察(10月24日)

本年度は国道441号口屋内トンネル、ぶしゅかん栽培地、誘致企業のデジタルオペレーションセンター四万十、ピーマン栽培ハウスの視察と、四万十市商店街振興組合連合会との意見交換を行いました。トンネルは令和7年11月30日までを予定。その後にできるだけ早く供用開始ができるよう努めること。誘致企業ではネット広告事業など地域では稀な仕事により、若者の職業選択に寄与していることが伺えました。今後は社員増強も検討中であり、若者定住につながることに期待したいです。意見交換ではコロナ禍での現状認識の共有に始まり各施策の利用状況や、大きな課題では街中の人口減少の打開からの商店街振興という話もありました。



国道441号 口屋内トンネルの視察

教育民生常任委員会

委員会の開催

| 開催日 | 調査事項・付託議案 |
|--------------------|---|
| 4月26日 (第2回臨時会) | ・正副委員長の選出 |
| 5月27日 (閉会中) | ・令和4年度主要事業概要　・学校教育 ・公立病院経営強化ガイドラインの概要及び市民病院のプラン策定 ・本市における介護施設等 |
| 6月24日 (6月定例会) | ・付託議案1件、陳情2件の審査 |
| 8月16日 (閉会中) | ・夏季休業中の児童、生徒の活動 |
| 9月20日 (9月定例会) | ・管内、管外視察協議 |
| 11月2日 (閉会中) | 管内視察 ・ＩＣＴを活用した授業の参観(中村中、下田小) ・中学校統廃合に伴う校舎移転後の生徒の様子(下田中)　・一時預かり事業(ひっぴ) |
| 11月9日～11日 (閉会中) | 行政視察(北海道) ・株式会社ハルキ(森町)　・認定こども園はぜる(厚沢部町) |
| 11月28日 (閉会中) | ・具同保育所の改築　・就学児童の放課後の居場所づくり、学童保育 ・在宅障害者住宅改造支援事業、身体障害者住宅等改造支援事業 ・四万十市地球温暖化対策実行計画協議会　・ふん害防止対策 ・資源ごみ集積所での地域の作業員の報償費及びコロナ禍での作業に係る作業員の 手指消毒薬や手袋等の費用 |
| 12月16日 (12月定例会) | ・付託議案4件の審査 |

行政視察(11月9日～11日:北海道)

森町の株式会社ハルキと厚沢部町の認定こども園はぜるを視察しました。

ハルキは製材から加工まで一貫した生産体制を持つ工場で、木材の地材地消の推進、再生エネルギーの活用など、行政とタッグを組んだ地球環境問題への取り組みは、本市における『ゼロカーボンシティ宣言』の具体的な施策を考える上で参考になります。

はぜるは2021年11月から保育園留学をスタートさせ、今や、全国から月100件以上の申し込みがあり、80組がキャンセル待ちの状態とのことです。その魅力で確実に交流人口を増やし、町の活性化に貢献しています。本市の子育て支援や保育行政のあり方を考えるうえで多くの示唆に富み、有意義な視察となりました。



管内視察(11月2日)

中村中学校と下田小学校で、ICTを活用した授業を参観しました。映像表示の効果や自学自習への適用など教育効果を高める魅力的なツールであることを実感できました。家庭の通信環境の差にも対応していることに安心しました。

下田中学校では小学校への校舎移設後の生徒の様子を把握するため、授業参観をし、学校から説明を受けました。校長の「一つの学校のようです」という言葉にすべてが集約されていました。

最後に、子育て支援センターに整備された一時預かり「ひっぴ」を視察しました。担当課より、当初見込みより多い利用者があることが報告されました。先進的な取り組みであり、利用者のニーズを把握し、よりよいものになることを期待します。



議会改革特別委員会

委員会の開催

| 開催日 | 調査事項・付託議案 |
|------------------|--|
| 6月28日 (6月定例会) | ・議会改革特別委員会の設置 |
| 8月9日 (閉会中) | 第1回委員会 ・議会ICT化及び議会BCPの概要確認 ・タブレットのデモンストレーション・今後のスケジュール確認 |
| 9月27日 (閉会中) | 行政視察 ・議会にタブレットを導入している宿毛市と愛南町を視察 |
| 10月5日 (閉会中) | 第2回委員会 ・行政視察の振り返り タブレット導入の効果・今後のスケジュール確認 |
| 10月31日 (閉会中) | 第3回委員会 ・第2回委員会以降の進捗確認 予算要求に係る概算額等協議等 |

行政視察(9月27日:愛媛県愛南町、宿毛市)

本特別委員会は議会ICT化・タブレット導入と議会BCP(業務継続計画)作成を目的に6月議会において設置されました。行政視察では、実際に使用しているタブレットを使っての説明、その場での質疑応答にも対応いただき、使い勝手や操作性など生の声を聞くことができよい機会となりました。導入までの経過、経費や予算について、また災害時の対応に有効であることや導入することで見えた職員の負担軽減などのメリット、完全ペーパーレス化に向けての課題、各種気づいたことや注意点など、様々にお伺いでき、導入に際しての多くの確認事項が明確になり、大変参考となる視察となりました。



◎令和4年度の議員の出席状況をお知らせします。

出席○ 欠席×

【総務常任委員会】

| | 西尾祐佐 | 山下幸子 | 上岡正 | 谷田道子 | 前田和哉 | 川村真生 |
|-------------------|------|------|-----|------|------|------|
| 委員会(R4.4.26) | X | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.5.30) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.6.24) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.6.28) | O | O | O | O | O | O |
| 管内視察(R4.7.12) | O | O | O | O | X | O |
| 委員会(R4.7.19) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.8.25) | O | X | O | O | O | O |
| 委員会(R4.9.5) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.9.20) | O | O | O | O | O | O |
| 行政視察(R4.10.18~20) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.11.18) | O | X | O | O | O | O |
| 委員会(R4.12.16) | O | O | O | O | O | O |

【産業建設常任委員会】

| | 寺尾真吾 | 宮崎努 | 川村一朗 | 山崎司 | 松浦伸 | 鳥谷恵生 |
|------------------|------|-----|------|-----|-----|------|
| 委員会(R4.4.26) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.5.31) | O | X | O | O | O | O |
| 委員会(R4.6.24) | O | O | X | O | O | O |
| 行政視察(R4.8.16~18) | O | X | O | X | O | O |
| 委員会(R4.8.24) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.9.20) | O | O | O | O | O | O |
| 管内視察(R4.10.24) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.11.25) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.12.16) | O | O | O | O | O | O |

【教育民生常任委員会】

| | 川瀬誠司 | 廣瀬正明 | 平野友亮 | 大西真一 | 上岡豊 | 川村昌美 |
|------------------|------|------|------|------|-----|------|
| 委員会(R4.4.26) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.5.27) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.6.24) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.8.16) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.9.20) | O | O | O | O | O | O |
| 管内視察(R4.11.2) | O | O | O | O | O | O |
| 行政視察(R4.11.9~11) | O | O | X | O | O | O |
| 委員会(R4.11.28) | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.12.16) | O | O | O | O | O | O |

【議会運営委員会】

| | 上岡真一 | 前田和哉 | 宮崎努 | 谷田道子 | 川瀬誠司 | 山下幸子 | 寺尾真吾 | 川村真生 |
|---------------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 委員会(R4.4.26) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.6.9) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.6.23) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.7.27) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.9.1) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.10.31) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.12.1) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.12.20) | O | O | O | O | O | O | O | O |

【広報広聴委員会】

| | 寺尾真吾 | 大西友亮 | 宮崎努 | 川村一朗 | 上岡真一 | 前田和哉 | 鶴谷眞 | 鳥谷恵生 |
|---------------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|
| 委員会(R4.4.26) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.5.12) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.8.2) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.9.5) | O | O | O | X | O | O | O | O |
| 委員会(R4.10.3) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.10.14) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.11.1) | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.11.13) | O | O | O | O | O | O | O | O |

【議会改革特別委員会】

| | 西尾祐佐 | 寺尾真吾 | 大西友亮 | 松浦伸 | 川瀬誠司 | 山下幸子 | 廣瀬正明 | 前田和哉 | 川村真生 |
|---------------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 委員会(R4.8.9) | O | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 行政視察(R4.9.27) | O | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.10.5) | O | O | O | O | O | O | O | O | O |
| 委員会(R4.10.31) | O | O | O | O | O | O | O | O | O |

傍聴の際には検温のご協力をお願いします。

四万十市議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、議会傍聴の際には、入室前の検温、住所、氏名の記入、手指消毒をお願いしています。検温で37.5度以上が計測された場合には、傍聴を控えていただきますようお願いします。

着座の際は、隣同士ではなく、間隔を空けてお座りください。



編集後記

2023年、新春のお喜び申し上げます。

昨年の年末は、高知県で記録的大雪があり本市でも積雪が見られるなど非常に寒い日が続きましたが、元旦を快晴で迎える事ができ、幸先の良いスタートを切ることができました。

12月議会では、15人の議員が一般質問に立ちそれぞれの立場で議論を交わしていました。

また広報広聴委員会では、新たな取り組みとして中・高生議会を11月に行ない学生の皆さんに少しでも議会の仕事を知つてもらう為に、議場に直接立てもらい日々考えていることや疑問に思つてている事を一般質問の形をとつて質問してもらいました。是非ご興味のある方はYouTubeで視聴してください。

委 副 委 員 員 長
〃〃〃〃〃 員 員 長
鳥澤前上川宮大寺
谷良田岡村崎西尾
宜
恵由和真一 友真
生美哉一朗努亮吾

広報広聴委員会

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は3月2日からの予定です。ぜひ傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は議会専用ホームページ (<http://city.shimanto.gsl-service.net/>) で閲覧できます。

※令和4年12月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は3月中旬の予定です。

[市議会のホームページは…]

URL:<http://city.shimanto.gsl-service.net/>

[You Tubeによるライブ中継・録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

※市議会ホームページからもご覧になれます。

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のLINEは…]

LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』